

EBMからみたアトピー性皮膚炎の民間療法

研究分担者 中村晃一郎

研究協力者 滝口光次郎

埼玉医科大学皮膚科

要旨

アトピー性皮膚炎(AD)の民間療法に対する RCT 臨床研究を中心とした論文の評価を行った。多くは症例報告、症例集積報告による臨床研究が多く認められた。RCT 臨床研究を行った報告は国内海外を含めて 13 例であり、probiotics による報告などが認められた。いっぽう民間療法においていわゆる不適切治療は数多く報告されている。今回の検討でも 2003 年以降 35 例が認められた。これまでの 74 報告例と合わせて約 100 例の報告となった。不適切治療の多くはステロイド外用薬使用を禁止しているものが多く、不適切治療による皮疹が悪化する症例が多く認められた。民間療法の有用性を理解すると同時に、いわゆる不適切治療に関しては今後も注意が必要である。

はじめに

アトピー性皮膚炎(atopic dermatitis: AD)の薬物療法は、急性増悪期にステロイド外用薬を中心とする外用療法が主体であり、維持療法として保湿薬を中心としたスキンケアが推奨される。これまで報告されている AD 患者の治療に関するアンケート調査では、多くの患者が民間療法を施行しており、民間療法が広く施行されていることが明らかにされている。

民間療法は、もともと地域において伝承されるような治療法であり、最近では医療機関によって行われることも多い。筆者はこれまで、民間療法における臨床的研究について、RCT を組み入れた高いエビデンスを示す報告例が少ないことを報告してきた。このように民間療法は、AD 患者で幅広く施行されているにも関わらず、プラセボなどの対照群を含めた RCT 臨床研究によって高いエビデンスを示した報告は少ないと考えられる。いっぽうで症例報告のなかに民間療法による、いわゆる不適切な治療報告例が多く見出された。今回、これまで報告した症例に加えて、2003 年以降で報告された不適切治療の報告例について検索した。

研究目的

AD における民間療法の有効性を明らかにする目的で、RCT 臨床調査を中心としたエビデンスの文献的な集積に

による調査を施行した。

方法

今回の臨床研究で、医学中央雑誌、PubMed による検索を行った。2003 年以降で検索した用語として、代替療法、民間療法、副作用、成長障害を選択した。AD との組み合わせで、代替療法 314 件、民間療法 37 件、副作用・治療 810 件、成長障害 54 件、温泉 113 件が認められた。また PubMed で AD と alternative therapy を検索し、それらを検討した。これらの新規報告を、前回の民間療法に関する EBM 報告(1-4)に加え、まとめて EBM 表を作成した。

結果

前回の臨床研究でも報告したように、民間療法の有効性を示す報告としていわゆる一例報告が多く、プラセボなどの対照群を組み入れた RCT 比較試験は少ない。筆者らの検討では、前回 JMEDICINE の文献 4,644,966 件をもとに民間療法で RCT 検討を行ったものとして、シジュウム含有塗布剤、クリーム外用薬、入浴薬によるものが認められた(5)。これらは、いずれも、コントロール群を設置しているが、少人数規模の調査であり、施設も限られていた。今回、2003 年以降の民間療法の臨床研究について追加検討した。本邦報告例では医学中央雑誌で 6 例の報告が認められ、この内訳は、外用薬、香料、厳格な食事療法、鍼治療、ドルフィン療法などであった(文献6-11)(表 1)。いずれも皮膚症状の改善を認めたが、対照群のない研究が多く、非 RCT 臨床研究であった。また、民間療法に関する総説が認められた(文献12-15)。海外での PubMed で抽出した臨床研究報告では、外用薬、ホメオパシー、鍼治療と漢方の併用療法、probiotics であった(文献16-22)。これらは RCT 比較試験であり、対照群を有し、左右比較試験、クロスオーバー試験など、エビデンスレベルは比較的高いものも認められた(表 2)。これらの PubMed で抽出された海外の報告では probiotics の臨床研究が多く認められ、皮膚症状が有効であった研究が認められたが、一方、同じ治療で有効性の認められない報告も認められた。これらの臨床研究を見ると ITT がいない研究、脱落例の記載のない研究、また外用療法などの併用療法の記述のない研究が認められた。

民間療法の種類として、これまでの報告では、健康食品、独自の軟膏や内服薬、エステティックサロン、水、温泉水などを用いた療法、化粧品・入浴剤などに分類されているが(23)、今回の検討でも、食餌、皮膚への塗布剤、生活リズムや生活環境に関する治療法、物理的施術などによるものが報告されており、鍼治療などの施術、probiotics などの内服薬による RCT 研究が認められ、評価されている(5)。

いっぽう過去における AD 患者の民間療法の実態調査では、「半数近く(41.9%)が効果があったと回答したが、30 人以上試みた療法について検討したところ、特異的に高い有効性を持つものは存在しなかった」としている。また他の研究でも、「民間療法の種類にかかわらずその有効性が 10-20%程度であり、これらの治療効果がプラセボ効果である」ことを示していると結論づけている(24, 25)。

筆者らの検討では、民間療法の RCT 臨床研究のなかで国内の報告では、対照群のない研究、ランダム化のない報告が大部分であり、したがってエビデンスの評価として高いものは認められなかった。上述したように、同じ治療でも有効性が認められない研究や、その他併用療法の記載のないもの、脱落例の記載のないもの、また施設が限定されているなどの報告研究が多く存在しており、条件によって大きく左右される可能性を示している。今後、これらを含めた評価が必要であると考えられる。

医学中央雑誌による民間療法を施行した症例報告で、皮膚炎が悪化し、民間療法を中止している症例が多数報告されていた。民間療法における不適切治療に関しては、すでに多数報告されており、筆者らも前回の報告で検討している(5、26-80)。これらの不適切治療による悪化事例に関しては、①ウイルス感染症(カポジ水痘様発疹症)や接触皮膚炎などの皮膚症状の合併症・悪化を生じたもの、②民間療法によって全身の機能異常を生じたもの(厳格な食事療法による栄養障害・成長不全など)、③民間療法で使用した薬剤、あるいは混入した物質によって副作用を生じたもの(肝機能異常、腎機能異常など)などが報告されており、今回の検討でも同様の結果が認められた。

これらの報告例の多くはステロイド外用薬を使用しない治療法が多く、不適切治療による皮膚炎の悪化事例が合計 35 例認められた(81-99)(表3)。これらの不適切治療の多くは、AD の標準治療より逸脱した症例が多く認められた。重篤な症状としてオゾン療法を試み、上矢状動脈血栓症を生じた症例、また多飲水療法、外気療法によって意識障害を生じた症例などが認められた。不適切な治療に関しては、今後も注意深い検討が必要であり、再認識する必要があると考えられる。

結語

民間療法はエビデンスによる評価という観点からは評価しにくいのが現状であり、RCT 臨床研究も、調べ得た範囲では数少ないという現状が示された。今後対照群を導入したり、一般の薬効評価と同様に多施設レベルでの検討なども必要と考えられる。また、民間療法に際して併用療法の内容、使用状況などについても、十分検証すべきであると考えられる。また、症例報告の中にはステロイド外用治療を禁止することによって、さまざまな皮膚症状の悪化を生じる場合が数多く報告されているため、民間療法における不適切治療に対する検証も必要である。

文献

1. 鈴木五男. 小児アトピー性皮膚炎に対するシジュウム[®]の臨床的効果. 厚生科学研究補助金分担研究報告書, 2000.
2. 塚本克彦, ほか. ユーカリエキス配合入浴剤のアトピー性皮膚炎患者に対する有用性の検討. 西日本皮膚科 1999; 61(4):515-519.
3. Schachner L, Field T, Hernandez-Reif M, Duarte AM, Krasnegor J. Atopic dermatitis symptoms decreased in children following massage therapy. *Pharmacology and therapeutics*, 15: 390-395, 1998.

4. Ferreira MJ, Fiaderio T, Silva M, Soares AP. Electrical conductance: a controversial parameter in the evaluation of emollients in atopic dermatitis. *Skin Research and Technology*, 4: 138-141, 1998.
5. Anstey, A, Quigley M, Wilkinson JD. Topical evening primrose oil as treatment for atopic eczema. *Journal of Dermatological treatment* 1: 199-201, 1990.
6. 金子史男、中村晃一郎、古川裕利。よりよい治療のための EBM 集。⑩民間療法。編集：古江増隆。58-61、158-159、中山書店、2005。
7. 江川雅人。成人型アトピー性皮膚炎における鍼灸治療の臨床的研究。明治鍼灸医学。33: 35-49, 2004。
8. 今井孝成、小田島安平。アレルギーとドルフィンセラピー。小児科。45 (5), 928-933, 2004。
9. 松中浩、阿部淑子、大江昌彦、錦織千佳子、宮地良樹。オリゴマリン(濃縮海水ミネラル成分)のアトピックドライスキンへの使用経験。皮膚の科学。3(1), 73-83, 2004。
10. 久保田一雄。補完・代替医療の現状と問題点。温泉療法。日本医師会雑誌。132(9), 1119-1121, 2004。
11. 渡辺俊之。DHA・EPA含有新外用剤によるアトピー性皮膚炎の治療経験について。アレルギーの臨床。28 (2), 76-79, 2008。
12. 針谷毅、小林雄輔、相原道子、石和万美子、柴田道男、市川秀之、池澤善郎。アト、ピー性皮膚炎に対する鎮静系香料露が及ぼす影響について。アレルギー。51(11), 1113-1122, 2002。(相原?心身医学。2004, 44: 41-49.)。
13. 田中敏郎、平野亨、河合麻理、比嘉慎二、有光潤介、荻原圭祐。アレルギーに対するフラボノイドの効果。アレルギー・免疫。15 (5), 660-666, 2008。
14. 間山真美子。皮膚科領域と相補・代替医療。治療増刊号。89: 854-863, 2007。
15. 板村論子。代替医療の現状と展望。伝統医学:ホメオパシー。現代医療。36(8): 1657-1664, ?。
16. 柴田留美子。小児アレルギー疾患へのプロバイオティクスの応用と展望。医学のあゆみ。228(3): 217-221, 2009。
17. Rosenfeldt V, Benfeldt E, Nielsen SD, Michaelsen KF, Jeppesen DL, Valerius NH, Paerregaard A. Effect of probiotic Lactobacillus strains in children with atopic dermatitis. *J Allergy Clin Immunol* 111: 389-395, 2003.
18. Brouwer ML, Wolt-Plompen SAA, Dubois AE, Van der Heide S, Jansen DF, Hoijer MA, Kauffman HF. No effects of probiotics on atopic dermatitis in infancy: a randomized placebo-controlled trial. *Clin Exp Allergy* 36: 899-906, 2006.
19. Passeron T, Lacour JP, Fontas E, Ortonne JP. Prebiotics and synbiotics: two promising approaches for the treatment of atopic dermatitis in children above 2 years. *Allergy* 61: 431-437, 2006
20. Sistek D, Kelly R, Wickers K, Stanley T, Fitzharris P, Crane J. Is the effect of probiotics on atopic dermatitis confined to food sensitized children? *Clin Exp Allergy* 36: 629-633, 2006
21. Klövekorn W, Tepe A, Danesch U. A randomized, double-blind, vehicle - controlled, half-side comparison with a herbal ointment containing Mahonia aquifolium, Viola tricolor and Centella asiatica for the treatment of

- mild-to-moderate atopic dermatitis. *Int J Clin Pharmacol Ther.* 45 (11): 583-91, 2007.
22. Salameh F, Perla D, Solomon M, Gamus D, Barziliali A, Greenberger S, Trau H. The effectiveness of combined Chinese herbal medicine and acupuncture in the treatment of atopic dermatitis. *The Journal of Alternative and complementary medicine.* 14 (8): 1043-1048, 2008.
 23. Sistek D, Kelly R, Wickens K, Stanley T, Fitzharris P, Crane J. Is the effect of probiotics on atopic dermatitis confined to food sensitized children? *Clin Exp Allergy.* 2006 36(5): 629-33, 2006.
 24. Januchowski R. Evaluation of topical vitamin B(12) for the treatment of childhood eczema. *J Altern Complement Med.* 15(4):387-9, 2009.
 25. 秀道広、山村有美、森田栄伸、高路修、山本昇壯。アトピー性皮膚炎に対する民間療法の実態調査。西日皮膚 62:83-88, 2000.
 26. AD Forum:川島眞、宮地良樹、中川秀己、飯塚一、伊藤雅章、塩原哲夫ほか。アトピー性皮膚炎の診療に対する患者の認識についてのアンケート調査 第1報, 臨皮. 55: 113-119, 2001.
 27. AD Forum: 川島眞、宮地良樹、中川秀己、飯塚一、伊藤雅章、塩原哲夫ほか。アトピー性皮膚炎の診療に対する患者の認識についてのアンケート調査(第2報), 臨皮 56:304-306, 2002.
 28. アトピー性皮膚炎不適切治療健康被害実態委員会:竹原和彦、飯塚一、伊藤雅章、玉置邦彦、川島眞、塩原哲夫、瀧川雅浩、ほか。アトピー性皮膚炎における不適切治療による健康被害の実態調査.日皮会誌 110: 1095-1098, 2000.
 29. 徳島明美ほか。民間療法で重症栄養障害をきたしたアトピー性皮膚炎の1例。鳥取医誌。17: 91, 1989
 30. 西美和ほか。食事制限により成長障害を呈したアトピー性皮膚炎の13例。日小児学会誌。94: 1292, 1990
 31. 鳥井信子、ほか。漢方薬(ハーブ)アローゼンによる薬疹の一例。臨床皮膚科。47: 1061-4, 1993
 32. 林原利朗。クロレラ錠による中毒疹で紅皮症となった成人アトピー性皮膚炎の1例。日本皮会誌。103: 419, 1993
 33. 出口英樹ほか。漢方・民間療法により紅皮症化したアトピー性皮膚炎 3 例。アレルギーの臨床。14: 625-8, 1994
 34. 村主明彦,ほか。漢方薬による増悪が疑われたアトピー性皮膚炎の一例。日東洋医誌。30:55-7, 1994
 35. 岩田力。漢方製剤によると思われるぼうこう炎の一例。日本病院薬剤師会雑誌。15: 705-9,1995
 36. 中西孝文。脱ステロイド後に急激な皮疹の悪化を生じたがグリテール調合ステロイド外用剤とソフトレーザーの併用で加療し軽快したアトピー性皮膚炎の1例。アレルギーの臨床。近藤宏樹ほか。民間療法による不適切な食物制限のため Kwashiorkor を来たしたアトピー性皮膚炎の乳児。日小児会誌。100;375, 1996
 37. 丹野仁ほか。民間療法の落とし穴。頼り過ぎてアトピー性皮膚炎悪化の症例。アレルギーの領域。3:905-7, 1996
 38. 東属彦。アトピー性皮膚炎の治療に用いた外用剤による接触皮膚炎。日皮会誌。106: 1805, 1996
 39. 越田繁樹ほか。漢方薬によると思われる蛋白尿の1例。日本小児腎臓病学会雑誌。10:42-5, 1997

40. 大沼すみほか。クロレラによる中毒疹の2例。臨床皮膚。51:1109-1112, 1997
41. 篠田勸ほか。エステテックによる民間療法施行中に重症感染症を合併したアトピー性皮膚炎の1例。皮膚臨床。39: 615-8, 1997
42. 帯金克行ほか。アトピー制限食によるビタミンD欠乏症くる病の1例。旭川市立病院医誌。29: 45-48, 1997
43. 三宅健。ゼラチン菓子(ミグキャンデー)を摂取して症状の悪化を認めたアトピー性皮膚炎の1例。アレルギーの臨床。17: 856-8, 1997
44. 田中敬雄。急速な腎機能低下をきたした民間療法による Chinese herbes nephropathy。日本腎臓学会誌。39: 794-7, 1997
45. 越田繁樹ほか。漢方薬によると思われる蛋白尿の1例。日本小児腎臓病学会誌。10;42-5, 1997
46. 伊丹儀友ほか。漢方薬の関与が疑われた急性間質性腎炎の1女児例。日本小児腎臓病学会誌。17:44-6, 1997
47. 野田剛弘,ほか。黄ぎによる蕁麻疹の一例。和漢医薬学雑誌。15:460-1,1998
48. 井本恭子,ほか。甘草により偽アルドステロン症をきたしたアトピー性皮膚炎の一例。皮膚 40:531-532, 1998.
49. 高島義嗣,ほか。姉妹で Chinese herbes nephropathy(CHN)を発症した2例。日本腎臓学会誌。40: 431, 1998
50. 長澤康行ほか。血液導入に至った Chinese Herbs Nephropathy の一例。大阪透析研究会会誌。16: 183-186, 1998
51. 向井秀樹ほか。外用剤が悪化要因であるアトピー性皮膚炎。アレルギーの臨床。29:123-6, 1998
52. 縣裕篤ほか。過度の食餌制限により重度の栄養障害と皮膚炎をきたしたアトピー性皮膚炎の乳児例。アレルギーの臨床。18, 542-, 1998
53. 笹本和広ほか。アトピー性皮膚炎患児に過度の食物制限を行い体重増加不良,運動発達遅延をきたした1乳児例 ビタミンB1欠乏からの検討。61, 1355-8, 1998
54. 前田康司ほか。腎不全に至った Chinese herbes nephropathy(CHN)の一腎生検症例。日本腎臓病学会誌。40;431,1998
55. 西きみこ,ほか。A case of allergic and photoallergic contact dermatitis due to chinese topical drugs. Environ Dermatol. 5: 130-134, 1998
56. 小尾真理子ほか。シジュウム茶入浴により増悪したアトピー性皮膚炎。日皮会誌。109:661, 1999
57. 杉浦真理子ほか。ステロイド離脱療法と除去食療法により症状が悪化した妊婦アトピー性皮膚炎の1例。皮膚。41: 97-101, 1999
58. 幸田衛。Streptococcal toxic shock syndrome にて死亡したアトピー性皮膚炎成人例。皮膚臨床。41: 315-318, 1999
59. Kato Y,1 et al 。Two cases of contact dermatitis due to propolis. Patch testing with fragrances detected in propolis by GC-MS. Environ Dermatol 。6:231-6, 1999

60. 寺田明彦ほか。低蛋白血症を呈した乳児アトピー性皮膚炎の検討。日本小児アレルギー学会誌。13, 38-42, 1999
61. 高橋美千代。重症アトピー性皮膚炎の検討 民間療法、不適切治療により合併症を併発したり悪化を来した症例。県立新発田病院医誌。5: 24-31, 1999
62. 矢野良嗣,ほか。漢方薬による薬剤性肝障害の一例。佐世保市立総合病院紀要。25:95-8, 1999
63. 三谷てるみ ほか。太乙膏でアレルギー性皮膚炎を生じたアトピー性皮膚炎の1例。日香粧品会誌。23:232,1999
64. 武富功雄。アトピービジネス療法により増悪したアトピー性皮膚炎の1例。西日本皮膚。62: 553, 2000
65. 竹谷徳雄。治頭瘡一方にて薬剤性肝障害をきたした乳児アトピー性皮膚炎の一例。日本東洋医学雑誌。50:131,2000
66. Uejima E,et al。個人的に輸入した伝統的な漢方薬(煎薬)使用の危険性。臨床薬理。31:693-9, 2000
67. 大沢正彦ほか。アレルギー。民間施設における食事療法で栄養失調となり死亡したアトピー性皮膚炎の一例。49: 251, 2000。
68. 大橋正博。脳梗塞を来した重症アトピー性皮膚炎の乳児例。アレルギーの臨床。20:77-81, 2000。
69. 斉藤善朗ほか。DHA.EPA 含有栄養補助食品の中止により皮膚症状が軽快した二例。小児科臨床。54:48-50,2001
70. 山本光章ほか。アトピー性皮膚炎に対する制限食で発症したビタミン D 欠乏性くる病の 1 例。日本小児科学会雑誌。105;158,2001
71. 西口健ほか。民間療法でアトピー性皮膚炎の増悪を来した姉弟例。日本小児皮膚科学会誌。京田学是ほか。19:25-28, 2001
72. 京田学是、ほか。民間療法中にあるいそを呈したアトピー性皮膚炎の一例。こども医療センター医学誌。29: 109, 2001
73. 斉藤善朗ほか。DHA.EPA 含有栄養補助食品の中止により皮膚症状が軽快した二例。小児科臨床。54: 48-50,2001
74. 大林幹尚ほか。発達の遅れと成長障害を主訴に紹介となった重症アトピー性皮膚炎の2乳児例。日本小児皮膚科学会誌。105: 162, 2001
75. 加藤保信ほか。アトピー性皮膚炎にカポジ水痘様発疹症を合併し更に横紋筋融解症に至った 1 例。アレルギー。52:336,2002
76. 小倉由紀子ほか。民間療法(整体)で栄養失調症をきたした乳児重症アトピー性皮膚炎の 1 例。日本小児アレルギー学会誌。16:456,2002
77. 鷺見浩史ほか。プラセンタエキスを含む健康食品の経口摂取により増悪をみた成人型アトピー性皮膚炎の 1 例。皮膚。43(Suppl.23)53-57, 2001
78. 柴田瑠美子ほか。不適切除去食,アトピービジネスにより発育障害をきたしたアトピー性皮膚炎乳児の 2 例。

アレルギーの臨床。22, 634-637, 2002

79. 里村憲一ほか。副甲状腺 ビタミン D 欠乏性くる病の 3 例。ホルモンと臨床。50 増刊 92-6, 2002
80. 吉富友美ほか。除去食中にケトン性低血糖症を発症したアトピー性皮膚炎の 2 例。日本小児科学会雑誌。106:935, 2002
81. 田村耕成ほか。日温気物医誌。長期にわたる長時間の入浴により偽性 Bartter 症候群および偽性副甲状腺機能低下症を生じたアトピー性皮膚炎の一例 65: 195-8, 2002
82. 中條綾ほか。中国直輸入の漢方製剤により副腎機能制御を来した 7 歳男児例。小児科臨床。55:1481-4, 2002
83. 竹原和彦。先端医学社1998, 東京、著者竹原和彦。アトピービジネス私論。84 頁。
84. 竹原和彦。先端医学社2000, 東京、著者竹原和彦。続アトピービジネス私論。102 頁。
85. 黒田直人、丹野高三、三戸聖也、北武、牧野容子。カポジ水痘様発疹症が死因に関与したと考えられた乳児死亡例。法医学の実際と研究。45:129-134, 2002.
86. 檜澤孝之、吉田直美、古林利治、ほか。皮膚炎の増悪に伴い著明な低栄養、体重減少、電解質異常をいたした乳児アトピー性皮膚炎の 5 例。日本小児皮膚科学会雑誌、22(2):149, 2003.
87. 神山一行、江隅英作、小島 進。オゾン療法後に発症した reversible posterior leukocephalopathy syndrome。神経内科、63(1):87-91, 2005
88. 鈴木保志朗、吉原 康、小泉 沢、草刈倫子、藤江弘美、鈴木 潤、渡辺信雄。健康食品による民間療法で低栄養となり、発育障害を伴ったアトピー性皮膚炎の 1 乳児例。小児科臨床、57, 1149, 2004.
89. 内野由美子、渡辺美砂、佐藤真理、小原 明、佐地 勉、月本一郎。低身長を主訴に受診した IgE 高値の重症アトピー性皮膚炎 2 症例。アレルギー学会誌:526, 2004.
90. 岡松千都子、渡辺美砂、直井和之、徳山美香、月本一郎。漢方薬に依存し体重増加不良、発達遅延、低ナトリウム血症を呈したアトピー性皮膚炎の乳児例。アレルギー学会誌、527, 2004.
91. 木下順平、河原秀俊、大矢幸弘、奥山眞紀子、赤澤 晃、高山ジョニー郎。Medical neglect により発達・発育障害、低蛋白血症をきたした重症アトピー性皮膚炎の 1 例。アレルギー学会誌、474, 2003.
92. 久保容二郎。アトピー性皮膚炎の自家療法(紫雲膏、プロポリス等)で生じた接触皮膚炎。皮膚病診療、26(8)、983-986, 2004.
93. 小倉由紀子、小倉英郎、小野美樹。アレルギー用ミルクにより、湿疹、下痢、肝機能障害などをきたした乳児アトピー性皮膚炎の検討。アレルギー。54(8-9)、1020, 2005.
94. 加藤保信、中村晃一郎、金子史男。民間療法中アトピー性皮膚炎にカポジ水痘様発疹症を合併しさらに横紋筋融解症に至った 1 例。アレルギーの臨床、25(6)、474-478, 2005.
95. 山口善道、岩井義隆、中本祐樹、松原純子、武井直樹、前田真治、平尾敬男。アトピー性皮膚炎に対して民間療法が施され救急状態に陥った一例。19(4)、649, 2005
96. 渡邊美砂、直井和之、岡松千都子、内野由美子、小原 明、月本一郎。日本小児難治喘息・アレルギー疾患

学会誌。3(1)、31-36、2005.

97. 小柳亜紀子、上田達哉、西藤成雄。医療ネグレクトにより重篤な低栄養、発育不良を来したアトピー性皮膚炎の1男児例。日本小児科学会雑誌、110(3)、473-(85)、2006.
98. 小松原亮、伊藤薫子、平田典子、松山温子、各務美智子、須賀定雄、宇理須厚雄。発達障害を伴った乳児重症アトピー性皮膚炎の1例。Pediatric Allergy for Clinicians、2(3)、25、2006.
99. 岡松由紀、松田健太郎、木村光一、谷 秀和、坂口由一、竹廣敏史、松石豊次郎。低アルブミン血症、体重増加不良を伴った重症アトピー性皮膚炎の乳児2例。日本小児科学会誌、111(2)、257(123)、2007.
100. 後藤真希子。不適切なスキンケアにより皮疹の重症化と体重増加不良をきたしたアトピー性皮膚炎の乳児例。日本小児アレルギー学会誌、21(5)、790、2007.
101. 馬場直子。アトピー性皮膚炎の治療例;年長児について(5,6 歳)。小児看護、29(10)、1350-1354、2006.
102. 坂本龍雄。アトピー性皮膚炎と成長障害。日本小児アレルギー学会誌、520、2007.
103. 大山育子、松原拓郎、丸毛 健、中谷英夫、長澤達也、三邊義雄。アトピー性皮膚炎治療に対する誤った民間療法によって水中毒を呈した統合失調症の一例。北陸神経精神医学雑誌、22(1)、25-29、2008.
104. Gruber C, Wends M, Sulser C, Lau S, Kulig M, Wahn U, Werfel T, Niggemann B. Randomized, placebo-controlled trial of Lactobacillus rhamnosus GG as treatment of atopic dermatitis in infancy. Allergy, 62: 1270-1276, 2007
105. Witt CM, Brinkhaus B, Pach D, Reinhold T, Wruck K, Roll S, Jackel T, Staab D, Wegscheider K, Willich SN. Homoeopathic versus conventional therapy for atopic eczema in children: medical and economic results. Dermatology 219(4) 329-40, 2009